

クルリンとほしぞらさんぽ 1月号

宇宙へのはじめの一步！



明けましておめでとうございませす

みなさん、元気で良い年を迎えられたことと思います。去年は気象が例年と違ってきて、夏も、秋も、ほしぞらさんぽができる日がとても少ない1年でした。今年はほしぞらさんぽにやさしい年になってほしいものです。

2026年の天文現象の見どころは

今年も流星群と月食があります。

4月22日 こと座流星群

5月6日 みずがめ座η流星群

3月3日 皆既月食

8月12日 ペルセウス座流星群

この流星群は毎年夏休みに楽しませてくれる流星群で、12日夜から明け方まで。月明かりがなくて条件はよし。

メジャーな流星群が続き、そのためか散在さんざい流星もよく見られるのが秋の夜空で、流星群の晩でなくても流れ星が見られるチャンスがありますよ。

10月9日 りゅう座流星群

10月21日 オリオン座流星群

11月5日 おうし座南流星群

11月12日 おうし座北流星群

12月14日 ふたご座流星群

※日付はいずれも極大の予報日

冬の星空はまるで動物園？

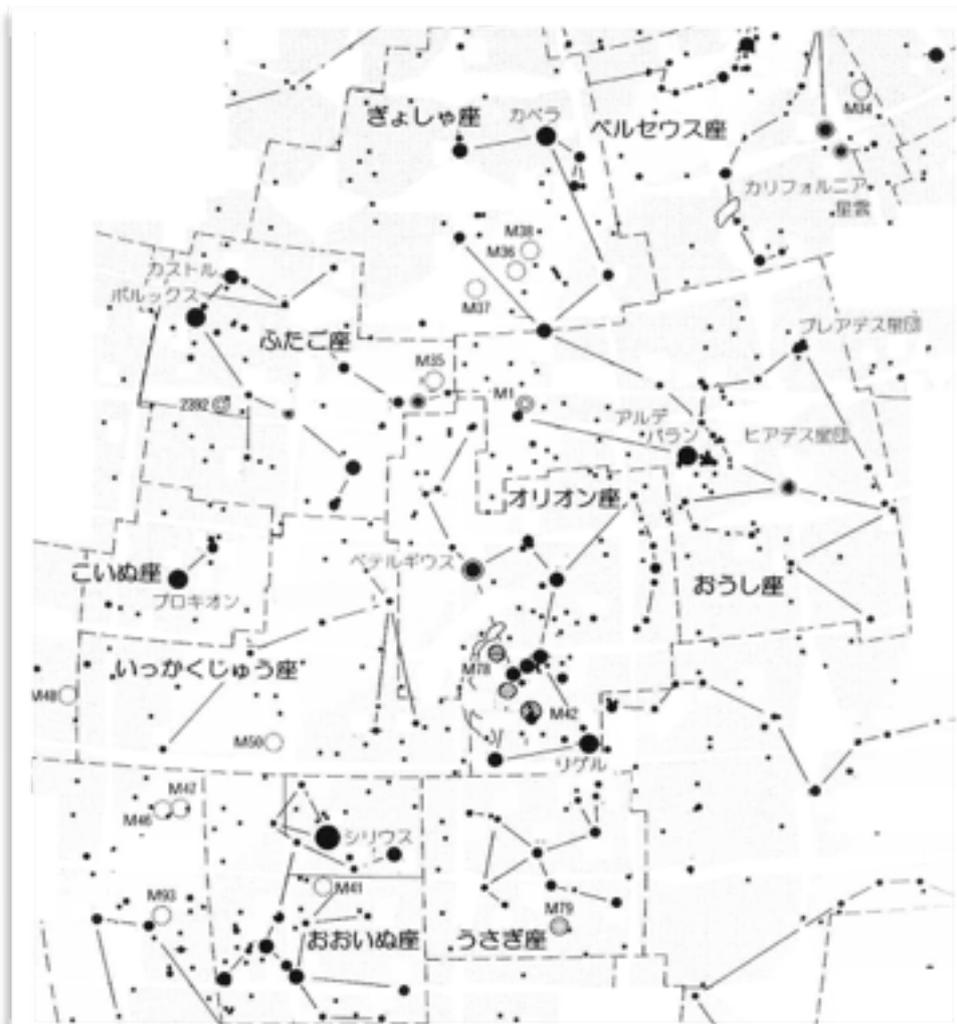
南を見ると、おおいぬ座、こいぬ座、うさぎ座、おうし座、はと座など、北の空を見るときりん座、おおぐま座、やまねこ座、こぐま座、りゅう座…と、冬の空には動物の名前の星座が

いっぱい。いくつ見つけられるでしょうか。

「冬の」星空ってどういうこと？ 夏に見える星座と冬の星座はちがうんですよ。

「え～、本当にちがうの？」なんていう人はいませんよね。冬の星座はどれも見つけやすいので、ほしぞらさんぽにはぴったり。

わたしは星座のことを知らないよ？ だったら市立図書館に行って冬の星座の本を1冊借りてきましょう。児童書コーナーの自然科学の書だなで探すのですよ。そして星空さんぽ



に出る前にちょっと予習します。星座早見盤を操作しながら読んでいきましょう。たとえば「オリオン座が真南に見えるのは1月〇日の△時ごろなんだな!」「冬の1等星はどれとどれ?、1等星いくつあるのかな?」「星の色はどんなにちがうのかな?」というように考えながら読むのですよ。

星の色

まず星々をじっくりながめてみましょう。なんだか色がちがうかなあ? 赤っぽい星があるでしょう? 青白い星もあるね? 星の色がどう見えたか、見上げながらメモしておきましょう。双眼鏡があったら色がもっとはっきりしますよ。

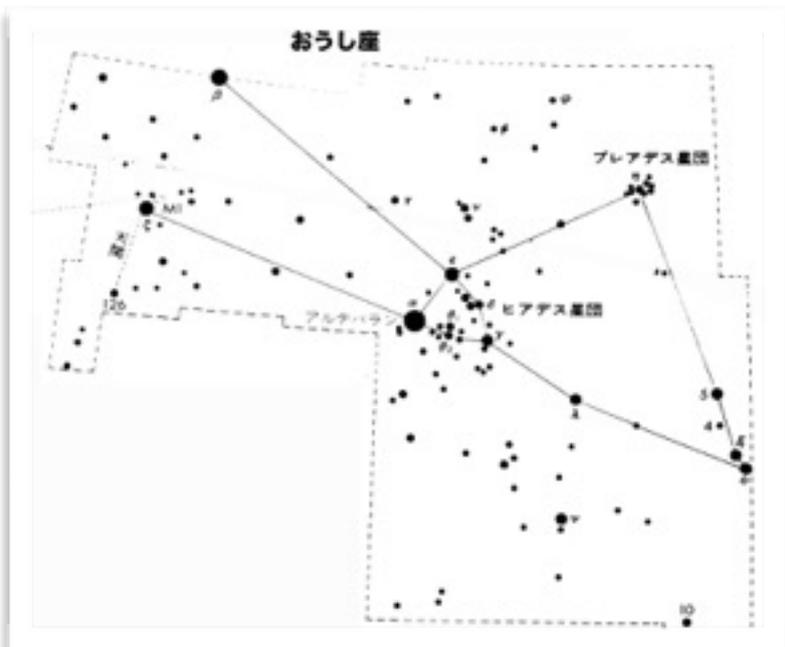
どうして星の色がちがうのかな? 赤っぽく見えている星たちは、星としてはお年寄りの仲間に入るらしいですよ。では青っぽい星は? 調べてみよう。

オリオン座のベテルギウスが赤っぽく見えているのは、この星がお年寄りの星で表面の温度が約3000度まで(太陽の表面温度は約6000度)下がってしまっているためです。このベテルギウスはやがて超新星爆発を起こして、ものすごい明るさに、満月より明るくかがやき、そして消え去ると期待されています。いつでしょうね?

おうし座

おうし座の星を調べてみましょう。冬の星座としては真っ先に東の空から上ってきて、1月上旬の午後6時ごろには南東の空に見つかります。(星座早見盤で確かめてね)

おうし座の散開星団・**プレアデス星団**(日本名は**すばる**)が見えますね。すばるは地球からの距離443光年。とても美しい星団で、夜空でも目立っていますから、すぐに見つかるでしょう。



散開星団の星々は大きなガスの一つの塊からほぼ同じ時期に生まれた姉妹星たちです。プレアデス星団の写真を見ると、星になるときに取り残された青いガスにかこまれた星々がとても美しく、人気があります。双眼鏡で見るのがもっとも美しいと言われていますから、みなさんも双眼鏡で観察してみましょう。すばるの左下に赤っぽくかがやいているのがおうし座の1等星の**アルデバラン**ですよ。



オリオン座

冬の星座の代表はなんといってもオリオン座ですね。オリオン座はだれでも知っていますね。オリオン座が目立つのは、一つの星座の中に1等星が2つと2等星が5つ、明るい



星が多いからです。こんなに明るい星が集まっている星座は他にはありません。

星座絵のオリオンの右の肩に当たるのが**ベテルギウス**です。この星も赤っぽく見えています。

オリオン座の中心にある三つ星（巨人オリオンのベルト）の斜め右下に見えているのが小三つ星、その小三つ星の中央が**オリオンの大星雲M42**です。肉眼では星のように見えているけれど、双眼鏡で見ると星ではなくて、何かがぼんやり広がっているなどわかります。1500光年も遠くにある宇宙のガスのかたまりで、その中で今も星が生まれているのだそうですよ。

オリオン座は東の空にある時には少し斜めになっていますが、やがて真っ直ぐに立ってきますよ。

カノープスを見よう

りゅうこつ座のα星カノープスは、シリウスの次に明るい一等星ですが、南の水平線近くにわずかな時間しか顔を出さないのが、伊勢原では見つけにくい星で、見つけると幸せに

なると言われます。ほぼ水平まで真南が開けた場所、伊勢原市内でも何か所かで見えます。星座早見盤を活用して、時刻を見計らって（1月だと10時過ぎ、2月なら9時過ぎ）チャレンジしてみましょう。今年もほしぞらさんぽを続けようね

冬の大三角

冬の空にも大きな三角形が見つかります。「明るい星をつなげば、三角なんかいくつでもできてしまう」なんて言わないで、星座早見盤と見比べて探しましょう。

オリオン座のベテルギウス、**おおいぬ座のシリウス**、**こいぬ座のプロキオン**をつなぐのが冬の大三角。**ベテルギウス**は**シリウス**よりだいぶ暗いですが、星の実物の大きさではシリウスよりけた違いに大きな星なんですって。**シリウス**は若い星、**ベテルギウス**は老人の星、いつ超新星爆発をして死んでしまってもおかしくないそうですよ。もっとも何百年とか何万年後のことのようにですが…。

伊勢原の明るい夜空ではプロキオンがあまり明るく見えませんので注意して！。地平線のすぐ上で輝いているシリウスは-1.4等、地球からの距離は8.6光年、月や惑星以外では全天で一番明るい星ですね。シリウスは1等星



の仲間ですが、実は -1.46 等（マイナス1.46
とう）と、太陽・月と木星や土星などの惑星
以外ではいちばん明るい星なのですね。地球
からの距離が他の星に比べるととても近く8.6
光年で、それで明るいのかもね。望遠鏡（双
眼鏡でも）で見るとギラギラ輝くのが見られ
ます。

寒さ対策のポイント

モコモコのコートを着てもホッカイロを貼っ
ても、下着がうすいと暖かくなりません。首
筋から暖かい空気が逃げないように。頭から
冷えてきますから必ず帽子をかぶり、もちろ
ん手袋も、そして靴下を2重にはきます。

星座早見盤、星図、赤い光の小さいライト、
双眼鏡もあるといいね。さあ準備ができたら
ほしぞらさんぽに出かけましょう。

